

## 平成22年度 第5回横浜医工連携セミナー

# 「(健康・予防用)生活・生体モニターの分別特異性と実装」

日時:平成23年2月1日(火) 13:30~17:00

会場:産業貿易センター7F(720号室)

本セミナーでは、医工連携の事例として「(健康・予防用)生活・生体モニター」を取り上げます。健康長寿の支援を目指すユビキタスヘルスケア・システムにおいて、生活(活動・睡眠・栄養)・生体リスク(バイタルサイン、各種リスクマーカー等)のモニターが重要ですが、電氣的・光学的・機械的センサーは設計性・生産性の改善が進み、安価に大量に供給できる状況にあります。一方で、バイオ・化学センサーは検査対象が多種多様で、まず技術の構造化・標準化から進める必要があります。3回のセミナーで、バイオ・化学センサーの臨床ニーズ、検査対象、分別特異性の実現技術、デバイス・装置として実装する技術、バイオマーカー探索を網羅的に最適化する新技術等を、11名の講師の方々にカバーして頂きます。

今回は、健康・予防用の生活・生体モニターに必要な、Naイオン、DNA・RNA、蛋白質等の検査対象に対して、高選択比・高精度で検出する技術と製品の事例を紹介いただき、多方面の企業、大学関係者、技術者の方々に共有したく、本セミナーを実施いたしますので、多くの方々のご参加をお願いします。

お申し込み・詳細はWebをご覧ください。<http://www.yk-bio.net>

### 【プログラム】

- 13:15 受付開始
- 13:30~ 開会『横浜医工連携プロジェクトについて』
- 13:35~ 『DNAチップと生活・生体モニターへの応用(仮題)』  
㈱東芝 研究開発センター 技監 源間 信弘様
- 14:20~ 『富士フィルムのコア技術を生かした診断装置  
(生化学診断・免疫診断・遺伝子診断)の生活・生体モニターへの応用(仮題)』  
富士フィルム㈱医薬ヘルスケア研究所長 横川 拓哉様
- 15:05~ 休憩
- 15:20~ 『μELISA装置と生活・生体モニターへの応用(仮題)』  
マイクロ化学技研㈱ 研究開発部 部長 江端 智彦様
- 16:05~ 『有機合成を用いたNa<sup>+</sup>等電解質計測の生活・生体モニターへの応用(仮題)』  
九州工業大学 教授 竹中 繁織様
- 16:50~ プログラムコーディネーターによるまとめ

【参加費】 無料

【お申込み】 ホームページ([www.yk-bio.net](http://www.yk-bio.net))からお申込みください。

### 【会場のご案内】

会場:産業貿易センター7F(720号室)  
横浜市中区山下町2番地  
TEL.045-671-7111/FAX.045-671-7116  
[http://www.sanbo-center.co.jp/ci/img/tre\\_mapb.gif](http://www.sanbo-center.co.jp/ci/img/tre_mapb.gif)  
●みなとみらい21線……………「日本大通り」駅下車徒歩3分



【お問合せ先】 横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局(財団法人 木原記念横浜生命科学振興財団)

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター

電話: 045-502-4810 FAX: 045-502-9810 WEB: [www.yk-bio.net](http://www.yk-bio.net) E-mail: [info@yk-bio.net](mailto:info@yk-bio.net)